

第七十回帝國議會
衆議院

絲價安定施設法案外一件委員會會議錄(速記)第九回

會議

昭和十二年三月十三日(土曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事小山邦太郎君 理事飯田 助夫君

理事横川 重次君

百瀬 渡君 最上 政三君

松尾 四郎君 篠原 義政君

森 幸太郎君 山崎 劔二君

三月十二日委員青木精一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ今給黎誠吾君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十三日委員粟山博君及助川啓四郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ松尾四郎君及小林錡君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

農林省山林局長 村上龍太郎君

農林省水産局長 原 辰二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

漁船保險法案(政府提出)

漁船再保險特別會計法案(政府提出)

森林火災國營保險法案(政府提出)

森林火災保險特別會計法案(政府提出)

○紫安委員長 開會致シマス、會議ニ付ス

ベキ議案ハ漁船保險法案、漁船再保險特別會計法案、森林火災國營保險法案、森林火災保險特別會計法案、此四案デアリマス

——山崎農林大臣

○山崎國務大臣 四法案ノ理由ハ本會議ヲ大要ヲ申述ベテ置キマシタ譯デアリ

マスルガ、尙ホ御審議ノ御便宜ト存ジマシテ、一應更ニ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

先ヅ漁船保險法ノ關係デゴザイマスガ、漁業者ニ取リマシテ大切ナル財産デアリ、又漁業上ノ要具デアリマスル漁船及ビ漁具ニ付キマシテ、損害ヲ生ジマシタ場合ニ、其損害ヲ經濟的ニ防止或ハ輕減致シマシテ、漁業經營ノ合理化ヲ圖リマスコトハ、漁業振興ノ上ニ極メテ大切ナル施設ト考ヘラレ

ルノデアリマス、殊ニ近時漁業規模ノ變遷ニ伴ヒマシテ、漁船ノ船體竝ニ機關ニ付キマシテモ、漸次改良セラレテ參リマシテ、

其ノ價格モ漸増ノ傾向ヲ迎ッテ居ルノデアリマスガ、其遭難ニ因ッテ蒙ル損害モ、相當多額ニ上ッテ居ルノデアリマス、然ルニ從來此ノ漁船ノ損害ヲ填補スベキ保險制度ハ、甚ダ備ッテ居リマセヌ、民間海上保險會社等ニ於テ、多少漁船ノ保險ヲ取扱ッテ居ルモノモゴザイマスケレドモ、保險料其他ノ點ニ付キマシテ、遺憾ノ事情ガアル譯デアリマシテ、其爲ニ特殊ノ漁船保險制度ヲ樹立スルコトノ必要ヲ望ム聲ガ、各方面ニ起ッテ居ル次第デアリマス、現在ハ漁業者ハ已ムヲ得ズ不十分ナガラ、便宜的方法トシテ、各種ノ漁業團體ニ於テ、共濟施設ノ形式ニ依リマシテ、僅カニ其必要ノ幾分ヲ充タシ

テ居ルニ過ギナイノデアリマスガ、其組織ト言ヒ、基礎ト言ヒ、之ハ單ニ過渡的施設ニ過ギナイノデアリマス、ドウシテモ鞏固ナ基礎ノ上ニ、堅實ナ組織ヲ確立スルコトガ必要デアリマシテ、是ガ今回新ニ漁船保險法ヲ制定スル必要アル所以デアリマス、本法案ニ於キマシテハ、漁業者ノ所有スル漁船竝ニ漁具ニ付キマシテ滅失、沈没、損傷其他ノ事故ニ因ッテ生ジマシタ損害ヲ、填補

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
漁船保險法案(政府提出)
漁船再保險特別會計法案(政府提出)
森林火災國營保險法案(政府提出)
森林火災保險特別會計法案(政府提出)

スルコトヲ目的ト致シマシテ、適當ナル區域毎ニ、漁船保險組合ヲ組織セシムルノデアリマス、此漁船保險組合ニ於テ、相互主義ノ元受保險ヲ行フノデアリマスガ、危險ノ分散ニ付テ、其ノ範圍ガ狭少デアリマスル爲ニ、保險經營上ノ必要ヨリ、政府ニ於テ再保險ヲ行フコトト致シテ居リマス、此點ハ御承知ノ家畜保險ニ付テ先例モアルノデアリマシテ、漁船保險ニ特有ノ點ヲ除キマシテハ、大體家畜保險制度ノ例ニ倣ッテ居ルノデアリマス、何卒慎重御審議ノ上、速ニ御可決ヲ願ヒタイノデアリマス

尙ホ此保險制度ノ樹立ニ伴ヒマシテ、特別會計法制定ノ必要ガアルノデアリマス、即チ漁船保險法ニ基イテ、政府ノ經營致シマスル漁船再保險ノ事業ニ關シマスル歳入歳出ハ、之ヲ一般會計ト區分致シマシテ經理スルコトガ適當デアルト見込ミマスノデ、特別會計ヲ設置スルコトト致シテ、之ニ要スル法律ヲ提案致シタ次第デゴザイマス
次ハ森林火災保險ノ關係ニ付テ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、申ス迄モナク森林ハ國土ノ保安、木材資源ノ保續、竝ニ山村

經濟振興上甚多重要ナルモノデアリマスガ、森林ノ成育ヲ阻害スル災害ガ中々多ク、就中森林火災ハ最大ノモノデアリマス、毎年府縣、民有林ニ於ケル被害面積ハ、壹万町歩ヲ超エル狀況デアリマシテ、價額ニシテ二百萬圓ヲ算スル程度ノモノデアリマス、殊ニ植栽後二十年以内位ノ幼齡林ハ、其性質上火災ノ危險ガ特大キイノデアリマシテ、然モ一旦火災ニ遭フトキハ、壯齡林ノ如クニ、殘存木ヲ利用スルコトハ不可能デアリマスノデ、所謂全損トナリマシテ、多大ノ投資モ、努力モ、烏有ニ歸スルヤウナ狀態デアリマス

而シテ我國林業者ノ實情ハ、跡地再造林ニ付キマシテ、十分ノ資力ヲ有シナイ者ガ多イ爲ニ、火災跡地ハ多ク其儘ニ放置セラレマシテ、延イテ林地ノ荒廢ヲ招キ、木材資源ノ保續ニモ支障ヲ來シ、又山村經濟振興上ニモ大キナ障害トナルノデゴザイマス、右ノ如キ狀態デアリマスカラ、特ニ幼齡林ニ付キマシテ、火災保險ノ制度ヲ確立シテ、火災ニ因ル損害ヲ填補シ、跡地ノ再造林ヲ圖リマスコトハ、緊要ノ事ト申サネバナリマセヌ、現ニ我國ニモ、森林火災保險事業ヲ行ッテ居ル會社ハ若干アリマスルガ、普及ノ程度ガ思ハシクナイノデアリマシテ、到底

現狀ヲ以テ満足スルコトガ出來マセヌノデ、一層擴充徹底ヲ圖ル爲メ、特ニ火災保險ノ必要ヲ痛感致スノデアリマス、即チ二十年生以下ノ人工植栽林ニ付キマシテ、政府ニ於テ火災保險ヲ施行スルコトニ計畫ヲ立テマシテ、本法案ヲ提出シタ次第デゴザリマス

尙ホ此森林火災國營保險法ノ制定ニ伴ヒマシテ、茲ニ政府ノ經營致シマスル森林火災保險事業ニ關スル歲入歲出ハ、ヤハリ漁船保險ノ場合ト同様ニ、之ヲ一般會計ト區分シテ經理スルコトガ適當ト認メマシテ、此特別會計設置ノ法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、以上四法案ノ提案ノ大體ノ御説明ヲ申上ゲマシタノデアリマスガ何卒十分ノ御審議ヲ願ヒマシテ、御協贊ノ程ヲ御願致ス次第デアリマス

○紫安委員長 森君

色々御尋ね致シタイト思フノデアリマスガ、幸ヒ大臣ガ御出席デアリマスルノデ、此森林火災保險ニ關聯致シマシテ、農林省ノ御方針ヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス、森林ノ火災保險ヲ御提案セラレマシタコトハ、洵ニ今日山村ノ行詰ッテ居ル時ニ、アア云フ不時ノ災害ヲ蒙ッテ、再起スル力モナイ山村ニ對シテノ匡救ノ事業ト

シテ、洵ニ結構デアリマスルガ、農山村漁村ヲ通ジテ考ヘマス時ニ、吾々ハ普通農作物ニ對シテノ保險制度ヲ強調シテ參ッテ居ルノデアリマス、殊ニ米作或ハ桑園ノ栽培等ニ付キマシテ、思ハザル災害ヲ蒙リマシテ、折角粒々艱難辛苦致シマシテ、今將ニ收穫セント云フ場合ニ當ッテ、全ク不毛ニ歸スルヤウナコトガ度々アルノデアリマス、殊ニ近年天災ガ澤山アリマス、政府ニ於テモ農業保險ヲ考慮サレテ居ルコトトハ存ズルノデアリマスガ、其實行ニ當ッテハ一段ト研究ヲ積マナケレバナラス重大ナ問題デアリマスガ、今日ノ場合ト致シマシテハ、先ヅ何ヲ措イテモ稻作或ハ麥作、所謂耕種農業ノ中デ、殊ニ米トカ麥ト云フヤウナモノニ付テノ保險制度ガ、緊要ニ思フノデアリマス、又桑園ニ對シマシテモ霜ノ害ヲ受ケル、或ハ暴風、雹害ト云フヤウナ爲ニ、或ハ昨年ノ如キ雪害ト云フヤウナ爲ニ、折角事業ヲ經營ヲ致シテ居リマスル農業者ガ、其一年ノ事業ヲ根本的ニ壞シテシマフト云フヤウナ悲況ニモ、遭遇致シテ居ル事實ガアルノデアリマス、申上ゲル迄モナク農業ト云フモノハ、其七割ヲ天然自然ノ力ニ依ッテ經營スルノデアリマシテ、此當業者ト致シマシテハ、今年ノ秋ハ雨デアラウカ、風

デアラウカ、サウ云フ風ナコトヲ心配シテ居ッテハ、ドウシテモ出來ナイ、道歌ニモアリマスルヤウニ「此秋ハ雨カ風カハ知ラネドモ今日ノ勤メニ田草取ルナリ」アノ暑イ炎天ニ煮エ返ルヤウナ田ノ中ニ入ッテ、稻作ノ耕耘ニ從事致シマスルコトニモ、其日ノ勤メトシテ、今年ハ豐作デアルト云フコトヲ祈願シテヤッテ居ルノデアリマスガ、一朝收穫ノ瀬戸際ニ當リマシテ、暴風ガ起リ、或ハ早ク霜ガ來ルト云フヤウナコトニナリマス、全ク一年ノ計畫ヲ覆シテシマフヤウナ事實ニナルノデアリマス、稻作ニ於キマシテハ、御承知ノ通りサウ云フ災害ニ當ッテ場合ニ、三割ノ收穫ヲ認メテ、サウ云フ場合ニ免租サレルノデアリマス、平年作ノ三割ニ達シナイモノニ對シテ、免租スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、是ハ量ノ問題デアアルノデアリマス、假ニ三割ノ收穫ガアリマシテモ、完全ナモノノ三割ナラバ、先ヅ我慢出來ルノデアリマスガ、三割シカ收穫出來ナイ場合ニハ量ニ於テ三割シカナイノミナラズ、其實ニ於テモ亦價值ノナイコトニナルノデアリマス、是ハ能ク農林當局モ御承知下サルコトト思フノデアリマスガ、アノ早ク寒サガ來タ、或ハ霜ニ害セラレタヤウナ場合ニ、稻作ヲ約三割シ

カ出来ナカッタ、ソレガ爲ニ免租ニナツタ、ソレデ幾ラカ助カルヤウニ考ヘラレマスガ、其三割シカ残ラナカッタ米ガ、殆ド價值ノナイ米シカ穫レナイノデアリマシテ、サウ云フ實情ガ時ニ年々繰返サレルヤウナコトヲ考ヘマスト、吾々ハ此米或ハ麥、桑ト云フヤウナモノニ對シテモ、此保險ト云フコトガ特ニ必要ニ考ヘラレルノデアリマス、無論森林等ノ火災保險、或ハ漁船等ノ不時ノコトニ對シテ、保險制度ヲ設ケテヤルト云フコトモ必要デアリマスガ、是等ノ主要農作物ニ對シテ、特ニ私ハ必要ヲ感ズルノデアリマス、昨年特別大演習ノ時ニ私ハ北海道ニ參ッテ居リマシテ、アノ三日ノ日カト考ヘマスガ、一晚大風ガ吹キマシテ、其前ノ日マデハ立派ナ見テモ甘味ヲ覺エルヤウナ林檎ガ實ッテ居リマシタガ、一晚ノ風デ翌日ハ殆ド其樹ニ林檎ノ實ノ影ヲ認メナカッタ、吾々ソレヲ見マシタ時ニ、涙ナクシテ其處ヲ通ルコトガ出来ナカッタノデアリマス、モウ一週間乃至二週間ニシテ、アノ林檎ガ市場ニ立派ナ姿ヲ現ハスヤウナ時ニナツテ居ッタニ拘ラズ、僅カ一夜ノ嵐ノ爲ニ、全ク其林檎ガ價值ナキモノトシテ、疵ダラケニナツテ其畑ニ散ッテ居ルト云フコトヲ見マシテモ、此農業ト云フコトガ如何ニ天然

自然ノ危険状態ニ曝サレテ居ルカト云フコトヲ考ヘマス時ニ、ドウシテモ私ハ斯ウ云フ業態ニ對シテハ、特ニ保險制度ヲ考ヘテヤラナケレバナラヌト云フコトヲ思フノデアリマス、而モ斯ウ云フ原始産業ニ屬シテ居リマスモノハ、資力ガ少イノデアリマシテ、是等ノモノニ對シテ、相互扶助ト云フヤウナ意味デ、多額ノ保險料ヲ賺出スルト云フコトモ困難デアリマスガ、併ナガラ農業上ノ實害カラ考ヘテ見マシテ、吾々ハ其保險制度ノ一日モ速ニ制定セラレンコトヲ希望スルノデアリマスガ、殊ニ米ニシマシテモ、或ハ桑ニ致シマシテモ、農林省ト致シマシテ以前ヨリ考究サレテ居ルノデアリマスガ、然ルニ未ダニ斯ウ云フヤウナモノガ後ニ廻ッテ居ルト云フヤウナコトハ、洵ニ私遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、農林大臣ト致シマシテ、是等ノ普通農作物、果樹其他ニ對シテノ保險制度ヲ、將來ニ於テドウ云フ風ニ考慮ニナツテ居ラレマスガ、吾々今回ノ保險制度ヲ非常ニ良イコトト考ヘマシガ故ニ、一層此危険ニ曝サレテ居ル所ノ米ナリ、麥ナリ或ハ果樹ナリ、是等ノモノニ對シテノ保險制度ヲ必要ト考ヘルノデアリマスガ、大臣ノ此問題ニ對シテノ御意見ヲ承レレバ結構ト思フノデアリマス

○山崎國務大臣 只今森君ノ御述ベニナリマシタヤウニ、農業ハ他ノ工業ナドト全ク性質ヲ異ニ致シマシテ、所謂大自然ノ威力ト恩恵ニ依ルコトガ多イノデ、是ハ農業ニ對スル諸般ノ政策ヲ考ヘマス時ニ、重要ナ事柄トシテ念頭ニ置クベキコトハ、森君ノ仰セノ通りデアリマス、隨テ一般農作物ニ付テ保險制度ヲ設ケル必要ハ、當局トシテモ十分之ヲ認メテ居ル次第デアリマシテ、先年只今議題ニナツテ居リマス森林火災保險、漁船保險等ト並ビマシテ、農作物保險ニ付テ、一應ノ案ハ農林省ニ出来テ居ルノデアリマス、唯其案ノ内容ニ付キマシテ、相當ノ再検討ヲ要スル點ガアルノデハナイカト私共ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、例ヘバ、從來ノ案ニ依リマスレバ、水稻ト桑ヲ保險ノ目的ニ致シテ居リマスガ、只今森君モ御述ベニナリマシタヤウナ麥ナドモ、是モ當然入レベキモノデアアルノデハナイカ、或ハ到底入レ惡イノデアアルカ、サウ云フヤウナ點モ大キナ一ツノ疑問デアリマス、更ニ災害ノ種類ニ付テモ御承知ノヤウニ風害、ソレカラ雨、水、旱魃、霜、雹ト云フヤウナコトガ主ニナツテ居リマシテ、冷害ト云フヤウナコトハ、是ハ前ノ案ニハ入ッテ居リマセヌガ、冷害ヲ入レナカッ

タト云フノハ相當ノ理由ハアルヤウニハ思ヒマスガ、唯實際ノ問題トシテ之ヲ全ク考慮ニ入レナイデ宜シイカドウカ、其邊ニ付テモ考ヘナケレバナラヌ點ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、更ニ又最モ重要ナ問題ハ、負擔ノ關係デアリマシテ、私ノ記憶ガ或ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、當時ノ案ニ依レバ、反當リノ保險ノ負擔金ト云フモノハ、髓カ一圓五十錢ニナツテ居ッタト記憶シテ居リマスガ、其内ノ半額ハ國ガ補助シ、半額即チ七十五錢ト云フモノガ耕作者或ハ土地所有者ノ負擔、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、反當リ七十五錢ノ負擔ト云フコトガ、果シテ適當デアアルカドウカト云フコトモ、餘程考ヘナケレバナラヌ點デアリマシテ、實ハ前ニ私農林省ニ在任ノ當時ニ、保險制度ヲ解決シタイト云フ考デ、色々苦心モシテ見マシタガ、當時ノ農村ノ事情カラ考ヘテ、到底反當リ七十五錢ト云フヤウナ新ナル負擔ヲ増スト云フコトガ、アノ不況ノ時代ニ於テハドウモ適當デナイデヤナイカト云フ懸念ガアリマシタ爲ニ、實ハ此問題ノ解決ヲ遅延シタヤウナ次第デアッタノデアリマス、併ナガラ保險制度其モノハ、ドウシテモ成ベク速ニ解決セネバナラヌ譯デアリマスカラ、來年度ノ豫算ニ

再調査ヲ致シマスル費用トシテ、若干ノ經費ヲ計上致シテ居リマス、今期議會ガ濟ミマシタナラバ、直チニ其對策ニ著手ヲ致ス考デアリマスカラ、成ベク次ノ議會ニハ提案ヲ致スト云フ考ヲ以テ、十分努力ヲシタイ積リデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森委員

只今農作物ニ對スル保險制度ノ將來ニ付テノ御決心ヲ承リマシテ、洵ニ意ヲ強ウシタ次第デアリマスカラ、農林大臣トシテ特ニ御考慮ヲ煩シタイコトハ、地方ニ依リマシテハ、非常ナル保險ヲ農業者ガ負擔致シテ居ルノデアリマス、其事實ハ今日ノ電動力ノ供給狀態ガ、固ヨリ地方的ニ會社ニ依リテ違ヒマスケレドモ、早魃ノ場合ニ地下水ヲ利用スル、或ハ河川湖沼ノ水ヲ使フト云フヤウナ設備ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ電燈會社ヨリ動力ノ供給ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此動力ノ供給ヲ受ケケマスノニ、五年目ニ來マスカラ、三年目ニ來マスカラ、或ハ年々來マスカラハ分リマセヌガ、非常ナル早魃ノ場合ヲ考ヘテ灌溉「ポンプ」ノ施設ガアルノデアリマス、所ガ此電動力ヲ供給シマスルノニ、其當時必要ナダケヲ購入致シマスルト非常ニ高イノデアリマス、サウシテ又俄カノ場合

ニ會社ニ依リテハ供給ニ應ジナイ、ソレデアリマスカラ準備料ト云フモノヲ納メマシテ、サウシテ一年中使ハナクトモ使ツテモ、或ル一定ノ料金ヲ仕拂ツテ居ル、ソレガ一反歩ニ對シテ一圓掛ルカ七十五錢掛ルカ、ソレハ灌溉町歩ニ依リテ違ヒマスケレドモ、サウ云フヤウナ事實ガ全國到ル處ニアルノデアリマス、今日電力ノ國家的統制ト云フヤウナ問題ガ起ツテ居リマスカラ、或ハ斯ウ云フ動力マデハ及バヌヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、今日農業者ト致シマシテハ、斯ウ云フ方面ニ非常ナル保險料ノ支拂ヲ致シテ居ルノデアリマス、現ニ吾々ノ地方ニ於キマシテモ、一反歩ニ對シテ一圓四五十錢ノ動力準備料ト云フモノヲ、早魃ガアツテモナクテモ使ツテ居ル、サウシテ早魃デ引水致シタ場合ニ於テハ、更ニ必要ナ動力料ヲ拂フ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ一旦早魃ガ來マスカラ、一段歩ニ對シテ五圓ヤ、七圓ヤ、十圓ノ經費ヲ行ケナイノデアリマスカラ、是ハ一ツノ保險料ト云フヤウナ考ヲ以テ、地主ガ負擔致シテ居ルノデアリマス、ソコデ將來此米トカ、或ハ其他ノ農産物ニ對シテノ保險ヲ考ヘテ戴ク時ニ、今御話ノ七十五錢ト云フモノヲ、保險料トシテ出スコトハ非常ニ

苦痛デアリマス、農家ト云フモノハ妙ナモノデアリマシテ、金ヲ出スコトハ甚ダ辛イノデアリマスカラ、實物ヲ出スコトハ其割ニ考ヘナイノデアリマス、ソレデ年々穫レ時ニ米ヲ二升取ルトカ、或ハ米ヲ一升ヅツ出ストカ、三升出ストカ云フコトニナレバ、金額ニ見積レバ米二升出シテモ五六十錢ノ金ニナルケレドモ、五十錢ノ金ヲ出スコトモ、米三升出スコトハ農家ハソレ程苦痛ニ考ヘテ居ラナイ、是ハ自分ノ作上ゲタ物デアリマスカラ、農業者ト云フモノハ其點ニ非常ニ好イ所ガアリマシテ、自分ノ所ニ澤山穫レマスカラ、豆ニシロ、米ニシロ、餅米ニシロ、彼處ハ作ツテ居ラナイカラ持ッテ行ッテ上ゲルト云フ、所謂隣保扶助ト言ヒマスカ、洵ニ氣持ノ好イ、是ハ何處ノ農村デモサウデアルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、若シ將來農業保險ヲ考ヘテ戴ク場合ニ於テ、七十五錢トカ一圓トカ云フ現金支出ハ、吾々トシテハ實ニ辛イ、併シ米ナラバ二升出ストカ或ハ三升出ストカ、一升出ストカ云フコトハ樂デアル、サウ云フモノハ出シ易イト云フ事情ニアルノデアリマス、固ヨリ一升ノ米、五合ノ米モ貴イモノデアリマスケレドモ、農家自體ガ作上ゲタモノデアリマスカラ、非常ニ其氣分ガ出シ

易イノデアリマス、ソレデアリマスカラ斯ウ云フ點ニ於テモ、一ツ御考慮ヲ煩シテ置キタイト思フノデアリマス、ドウゾ一ツ今大臣ノ御考ニナツテ居リマス通り、速ニ普通農作物ニ對シテ、保險ノ制度ノ一日モ速ニ御成案下サランコトヲ御願致シマス同時ニ、今日農業者ノ事情、又其實現ニ對シテノ吾々ノ考ヲ、一言御參考マデニ申上ゲテ置ク次第デアリマス、ドウカ一ツ速ニ御成案ヲ御願スル次第デアリマス

次ニ政府委員ノ方ニ御尋致シタイト思フノデアリマスカラ、船ト山ト一緒ニナツテ居リマスケレドモ、參考書類トシテ御送付下サイマシタ書類ニ依リマシテ、大體森林ノ保險ノ程度ヲ承知致シタノデアリマス、之ニ依リマスト五年以下ノモノハ松、落葉松五十圓、其他ノモノ八十圓ト、斯ウ云フヤウニ御決メニナツテ居ラレルノデアリマスカ、森林ヲ植エマスニ付テ、一町步當リニドノ位ノ經費ヲ要スルモノデアアルカ、固ヨリ地勢關係ニモ依リマセウガ、ドノ位ノ程度ニ依リテ森林一反歩ト云フモノガ植付ケ出來ルカ、又火災ニ遭ツテ再造林ヲスル場合ニ於テ、ドノ位ノ出費ヲ要スルモノデアアルカ、此點ヲ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 只今御尋ノ點デゴザイマ

スガ、是ハ木ニ依ッテ色々違ヒマスシ、又

所ニ依ッテ違ヒマスカラ一様ニハ申上ダラ

レマセスガ、杉ノ造林、是モ植エル本數ニ

依ッテ違ヒマスケレドモ、普通新シク植エ

ルトシマシテ八十圓位ノ所ニ考ヘテ居リマ

ス、アト段々枝打チラシマシタリ、或ハ絡

ンダ蔓ヲ伐ッタリスル費用ハ要リマスガ、初

メノ植付費用、是ガ造林費ノ一番主ナモノ

デアリマス、アト八十圓トカ四圓トカ云フ

細カイ支出ニナリマス、大體杉デ申セバ、

初メノ植付ハ色々ナ公課等モ考ヘテ八十圓

位、松ニナリマスト植付ノ費用ガズツト減ッ

テ参リマスカラ、五十圓見當ノ所ニ考ヘテ

居リマス、ソレガ年ガ經チマスト、段々金

利ガ付クノデ、其計算ナドヲ致シマストソ

レガ殖エテ参リマス、ソレデ五十圓――

五年生以下ノ松ナラバ、標準金額ヲ五十

圓ニ決メル、杉ナラバ八十圓ニ決メル、先

ヅ大體此程度デアレバ再造林ガ出來ル、ア

トノ植付ガ出來ルト云フ程度ノ金ニ考ヘテ

居リマス、金利等ノ計算ヲ考ヘ入レマスト、

少シ實際植付費ヨリ下目ニナルコトニ考ヘ

テ居リマス

○森委員 此保險金交付ヲサレル場合ニ於

テ、若シモ交付シナケレバナラヌ場合ニ、

再造林ト云フコトヲ條件ニ附セラレルヤウ

ナ御考ガアリマスカ

○村上政府委員 先程大臣カラ提案ノ理由

ニ付テ申上ゲマシタヤウニ、出來ルダケ燒

跡ニ造林ヲシタイト云フ趣旨ヲ以テ考ヘテ

居ルノデアリマス、唯實際ノ場合ニ於キマ

シテハ、出來ルダケ再造林ヲサシタイトノデ

アリマスガ、ソレヲ條件ニ致シマストカ、

再造林ヲ強制スルトカ云フコトニナリマ

スト、ソコニ無理モ起リマセウカラ、ソレ

迄キツイコトニハ致シマセスガ、出來ルダ

ケ其方針ヲ獎勵ラシ、實行ヲシタイト、斯

様ニ考ヘテ居リマス

○森委員 尙ホ森林ノ火災保險ニ付テハ疑

問モアルヤウデアリマスカラ、モウ少シ纏

メテカラ御尋シタイト思ヒマス、次ニ漁船

保險ノ方ヲ御尋致シタイト思フノデアリマ

スガ、第一條ニ漁具ヲ包含サレテ居ルヤウ

ニ考ヘラレルノデアリマスガ、漁具ノ種類

ヲドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○原政府委員 漁具ハ漁船ト一體ヲ成ス範

圍ノモノヲ考ヘテ居リマシテ、逆ニ申セバ

定置漁業ノ網デアリマストカ、サウ云フ漁

具ハ扱ハナイ、船ニ積込ミ漁船ト一體ヲ成

ス、其範圍ノ漁具ヲ考ヘテ居リマス

○森委員 是ハ多少意見ニナルト思ヒマ

スケレドモ、此漁具ト云フノハ、漁船ニ

積込ムト云フ意味ノ漁具ノヤウニ承ツタノ

デアリマスガ、此定置漁業ニハ、是ハ自分

ノコトヲ申上ゲテ失禮デアリマスガ、訊ト

云フ御承知ノ定置漁具ガアリマス、是ハ御

承知ノ通り大キイモノニナルト、三千圓モ

五千圓モ掛ルノデアリマシテ、此漁具ハ非

常ニ危険ニ曝サレテ居ルノデアリマシテ、

一朝強イ風ガ吹キマスト、ソックリ壞サレテ

シマフヤウナ状態ニアルコトニ依ッテ、非常

ニ漁業者ハ迷惑致スノデアリマス、斯ウ云

フ風ナモノハ、保險組合ヲ創立シテ保險ノ

目的物トスルコトハ出來得ナイノデアリマ

スカ

○原政府委員 御話ノ訊デアリマストカ、

定置ノ漁具デ、モット大仕掛ノモノハ御承知

ノ大謀網デアルトカ、大敷網デアルトカ云

フヤウナ大仕掛ノモノモゴザイマスガ、理

想ト致シマシテ、サウ云フ漁具ハ保險ノ目

的ニシタイトハ思ッテ居リマスケレドモ、マ

ダサウ云フモノニ付テノ所謂危險率トカ、保

險ノ資料トナルベキ材料ノ調査ガ、今日マ

ダ出來テ居ラスノデアリマス、ソレデアリ

マスカラ將來ノ問題トシマシテハ、サウ云

フモノニ付テモ保險制度ガ布カレルヤウニ

致シタイト、斯ウ云フ考ハ持ッテ居リマス

ケレドモ、マダ資料ガ整ヒマセヌ關係上、現

在ノ漁船保險法ニ於キマシテハ、ソコマデ

考ヘテ居ラス、斯ウ云フコトニナリマス

○森委員 私ノ只今ノ質問ハ是ニテ打切ッ

テ置キマス

○紫安委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時十七分散會

昭和十二年三月十三日印刷

昭和十二年三月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社